

〔質疑〕災害廃棄物処理費用は国費100%ではないのか。

放射線量の測定に4名を雇用をしていくとのことだが、その他には、どのような仕事をさせるのか。

放射線量の測定にはどのような測定器を調達するのか。

〔答弁〕災害廃棄物処理費用については、自治体により異なり、白石の場合は、2分の1補助を見込み、計上している。

放射線量の測定に4名を雇用をしていく他に、生活環境課、建設課、税務課、給食センターの事務補助員として6名を雇用する。

放射線量の測定器は、リースで2台確保したいと考えている。

災害廃棄物処理費用については、災害対策債という起債を活用し、国の補助が半分、市の起債が半分ということになる。その95%を公債費方式により基準財政需要額に算入する。残りの5%は特別地方交付税で措置するというところで、結果的に100%国の補助だと国では言っている。

〔質疑〕公共土木施設災害復旧費の中で工事請負費17億円とあるが、261カ所の現場のうち、今まで査定を受けた件数は何件で、早急に発注できるのは何件なのか。下水道との関連で道路工事と重複していないのか。

〔答弁〕6月10日までに18件の査定が終わっている。全体の1割程度終了したところである。

今後の発注については、査定が終わった分から随時その状況を見て、発注をしていきたい。

下水道が被災した部分については下水道が先に工事を行い、最終的な路面の補修は道路工事で行っていく。

〔質疑〕下水道の査定はいつ始まり、工事はいつから施工できるのか。道路も含め、早急にお願したい。

〔答弁〕できるだけ早急に復旧したいと思っているが、国の査定が非常に手間取っているというのが実態である。下水道は7月4日からの査定

になる。したがって、次の議会には少しでも予算計上をしていきたい。

道路の査定は、10月いっぱいまでかかると見込まれている。

また、市内の業者に発注したいと思っているので、年度内完成は難しい。極力スピーディーに進めていきたい。

〔質疑〕災害復旧工事の執行が重なると思うが、今の建設課の職員の増員は考えているのか。

〔答弁〕建設課職員の手薄なところは理解をしている。職員の準備ができ次第発注となるが、手薄なところは、技術を持っていく職員にできるだけ協力をもらおう形で進めていきたい。

〔質疑〕消火栓の設置工事負担金とあるが、どこに設置するのか。

〔答弁〕南町2丁目地内、第二幼稚園の近くに消火栓を設置する予定である。

〔質疑〕通学道路の修理の優先順位は、どのように考えているのか。

〔答弁〕優先順位は、市民の利用頻度が左右すると思っている。通学路は何番目の優先順位ということではなく、状況を見ながら必要な部分については早目の対応をしていきたい。

〔質疑〕東中学校通学路法面崩落について、どのように工事を行うのか。

〔答弁〕工事の内容は、崩れた部分の土台に60メートルのふとんかごを設置し、排水を良くすることで、再度の崩れを防ぐものである。



ふとんかごとは

鉄線などを使用した金網製のかご状構造物の内部に、自然石・碎石などを詰め詰めたもので、根固め、床止め、土留めに使用される。



〔質疑〕今回被害のあった碧水園は、地盤が大変弱いと思うが、復旧工事をする場合、その点はどう考慮していくのか。

〔答弁〕茶室の被害が大きいため、設計を委託する際に地盤関係について調査をし、発注していきたい。



茶室の様子

〔質疑〕被害のあった白石川サッカー公園の工事はどういう日程でいつころまで完成するのか。

〔答弁〕サッカー公園の災害査定は、6月7日に終了したので、今議会終了後、工事に着手し、11月頃には完成する予定である。